

3年 学年便り

七尾市立七尾東部中学校
第3学年 No.3
2022年5月30日（月）

人権講話がありました！！

5月17日に人権擁護委員の方々をお招きして、人権に関するお話をしていただいたり、差別を受けた中学生のDVDを見たりしました。人権講話後に感想（心に残ったことや感じたこと）を書きました。素敵な感想がたくさんありました。一部を紹介します。

思いやりの心

感謝の心

笑顔

宝物

- ・差別や変な噂を立てないようにしようと思った。
- ・人権のお話を聞いて、人への思いやりの心が大事だということが分かりました。これから、自分を大切にすると相手も大切にしようと思いました。
- ・はっきりとした情報でもないのに差別などを行っているのを見て、差別は本当に最低なことだと思った。差別している人は、差別されている人のことを考えた方がいいと思う。自分がされて嫌な事は人にしないようにしてほしい。
- ・不確かな情報をうのみにして、その情報を広げるのではなく、その情報が正しいのかしっかり確認することが大切だと思いました。
- ・誤解を解くためにすぐに行動に移すのはとても厳しいことだけれど、協力してくれる仲間と共に「種」をまき、大きな幸せのみが実現すれば、一人一人が差別に苦しむことなく一人一人の人権が尊重される社会になると分かった。
- ・人権教室は何度も受けているけれど、やっぱり人権について考えることは大切なんだと思いました。
- ・心に残っていることは、「人が一人でも笑顔になったら、相手も自然に笑顔になるということ」や、「感謝されることは、とても嬉しいこと」で、共感しました。笑顔に意識したり、「ありがとう」などの言葉を忘れずにしたいです。
- ・自分ばかりに種をまくのではなく、みんなにもまいてあげて、一緒に育っていくことが大切だと思いました。
- ・「思いやりの心」は「感謝の心」を生んで、「感謝の心」は、「笑顔」を生むので、「思いやりの心」を大切にすると、自然と笑顔が増えて、とても良い環境になっていくのだという事が心に残りました。「思いやりの心」を大切にしていきたいと思いました。
- ・人権教室で、改めて「感謝の心」を持つことが大切だと思った。また、その感謝の心を口に出して相手に伝えることも大切だと思った。また、動画を見て、誰にでも平等に温かく接していきたいと思った。温かく接するためには、まず相手のことをよく知ることが大切だと思った。
- ・今日のお話を聞いて、相手や自分の笑顔を失わないために、思いやりの心を持って行動するのが大切なんだと思いました。



相手を思いやり、笑顔あふれる学年にしよう！！

